

スコティッシュフォールドの飼い主さま

# 骨軟骨異形成症 (OCD)

## 遺伝子検査を受けましょう



変形性関節症 (OA) は  
猫の最も一般的な運動器疾患です



1歳以上、約**74%**の猫がOAに罹患しています

12歳超では**90%**の猫が罹患しています

\*n=101、年齢の中央値：9.78±5.77歳

しかし

動物病院でOAの疑いがある、または  
OAと診断され、治療されている猫は 約**2.3%**

飼い主さまでも気づきにくい病気だからこそ  
遺伝子検査でチェックすることが**大切**です

こんな症状は  
病気のサインかも

猫ちゃんの様子を観察してみましょう

CHECK 1

グルーミングの減少

CHECK 2

排尿、排便の粗相

CHECK 3

関節が硬くて膨らんでいる

CHECK 4

体を触ろうとすると嫌がる

CHECK 5

ジャンプしなくなった

CHECK 6

高いところに登りたがらない

### 骨軟骨異形成症 (OCD) とは？

骨軟骨異形成症 (OCD) は、スコティッシュフォールドなどが発症する特異的な遺伝子疾患です。「耳折れ」形質と関連して生じ、通常「耳折れ」を有するスコティッシュフォールドでは、重症度は異なりますが、必ず発症するとされています。関節と尾に骨関節症を引き起こし、慢性的な痛みと可動域の制限により、QOLを著しく低下させてしまいます。

### 遺伝子検査を推奨する理由

遺伝子検査で発症リスクを知ることによって、事前に疾患に備えたり、適切な対処を行うことができます。大切な家族の痛みや負担を軽減するためにも、早い段階での検査をおすすめしております。